

活動報告

| | |
|------------|--|
| 団体名 | 四日市東日本大震災支援の会 |
| 活動名 | 熊本県西原村の復興に寄り添う仮設住宅でのサロン活動 |
| 活動期間 | 2017年3月～2017年6月 |
| 活動の成果 | <p>午前中に仮設住宅を戸別に訪問して、午後のお茶会の告知にまわる。5月の活動では、この段階で家にあがらせてもらい、お茶会が始まるケースが複数みられるようになった。また、今までお茶会などのイベントに参加していなかったお年寄りに、遠くから来た大学生の誘いに、「じゃあ、行ってみようかな」という気持ちを持っていただけたようである。それが、「初めて集会所でのイベントに参加したんだよ」という言葉であり、今回の活動の大きな成果である。</p> <p>足浴は、運動不足になりがちな仮設住宅での暮らしにおいて、足だけでなく全身の血行が良くなり、エコノミックラズ症候群の予防や、睡眠促進の効果があると言われる。また、ボランティアと仮設住民の間の会話では、少しずつ震災の話をしていただけのケースが出始め、心の整理がついて次のステップに進むきっかけになる効果をもったと考える。足浴は10分ほどで終わり、ボランティア学生と足浴をした仮設住人は、そのままのペアでお茶会に進むようにしている。このサロン活動を通じ、仮設住人同士の絆が深まっていく成果もあると考える。</p> |
| 寄付者へのメッセージ | <p>皆さんに支えていただき、われわれの支援活動ができています。熊本県西原村の皆さんの生活再建までの長い道のりに寄り添っていく決意です。皆さんに深く感謝しています。常に多くの方の支えがあって活動ができているという認識に立ち、仮設住宅の皆さんが笑顔になるよう、精いっぱい頑張っています。今後も全ての仮設住宅の住人が安心して暮らせるよう、そして生活再建に少しずつでも進めるよう、西原村に寄り添い続けていきたいと考えております。</p> |

(活動のようす)

